

第75回日本体力医学会大会に関するお知らせとお願い

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症への対応でご多忙な日々をお過ごしのことと存じます。第75回日本体力医学会大会（鹿児島大会）の開催につきまして、2020年9月24～26日に鹿児島大学 郡元キャンパスにて開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、開催方法について慎重に検討して参りました。その結果、鹿児島大会は例年通りの開催ではなく、WEB上で開催することにいたしました。詳細につきましては、会期も含め内容が纏まり次第ホームページ（<http://ltd-css.jp/jspfsm75/>）上でお知らせいたします。

皆様には、大変なご心配とお手数をおかけいたしますこと、重ねまして心よりお詫び申し上げますとともに、引き続きご理解、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年5月吉日
第75回日本体力医学会大会
大会長 徳田 修司

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2020年2月）議事録

日 時：2020年2月21日（金）午後5時30分～7時00分

場 所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、赤間高雄、井福裕俊、

太田 真、大野 誠、後藤勝正、小山勝弘、

下光輝一、須田和裕、須永美歌子、田中喜代次、

中里浩一、永富良一、成田和穂、前田清司、

宮内 卓、和気秀文各理事、

清田 寛、小林康孝各監事、

徳田修司第75回大会長、

加藤 公第76回大会長

欠席者：栗原 敏、新開省二、竹森 重、浜岡隆文、

宮川俊平各理事、井上 茂、定本朋子各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時まで訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 新規事業企画（案）について（鈴木理事長）

前回の理事会で、肥満に関連する出版物と高齢者の健康問題に関連する出版物について、田中理事より指摘があった。肥満問題に関しては肥満学会が、高齢者の健康問題に関しては老年医学会がそれぞれ専門的立場から対応している。もし、体力医学会が肥満問題や高齢者の健康問題を取り扱おうとすれば、その“オリジナリティ”は何かを明確にしなければならない、という意見に対し、そもそも体力医学会は単一の学会ではなく、戦後、国民の健康が疲弊状態にあったときに、医学に係る専門家だけではなく、体育や栄養に関する専門家が集結し、人間の健康問題を把握するためにできた学会である。また、日本医学会に加盟している129学会のうち肥満に関連する23学会が集結して、各領域が横断的に肥満に関する対策ワーキンググループ（WG）が設立された。肥満問題は単に内科学会や肥満学会のみによる対応には限界があり、肥満研究に関する学会の協力の基に肥満および肥満症に対応しようという試みである。茨城大会のシンポジウムにおいても体力医学会、肥満学会、サルコペニア・フレイル学会による合同シンポジウムが行われた。このように、肥満問題や高齢者の健康問題は多領域の研究者の叡智の結集によって解決可能な問題であり、体力医学会のみの“オリジナリティ”によって達成される問題ではない。肥満者増加を根本的に解決するためには、発育期から青年期、中・高年期に到るまでの食事内容や、日常の身体活動を含む生活環境変化への適正な対応が求められる。肥満に関連する出版物については、研究成果を結集し一般に分かりやすいように総括し、本学会としての今年度末の7月31日までに素案を作成し、理事会で提案し承認されれば、来年度当初に予算化し実行したい、との説明がなされた。

3. 評議員選考内規の改定について（大野委員長）

評議員選考内規、評議員申請書、研究業績基準の改定案が提出され、令和2年2月21日改定とし、承認された。

4. 演題応募における倫理的手続きの対応について（成田委員長）

前回の理事会で報告された学術集会への演題応募に際しても、倫理審査を経た研究であることが求められる可能性が高くなったことについて、日本医学会に属している学会の倫理審査への対応状況を調べた結果が報告された。当学会大会の応募演題が倫理審査を受けているか否かの確認については、学会大会事務局ではなく、総務委員会が、状況を確認しながら調査方法を策定することとし、継続審議となった。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会（武政委員長）

2022年栃木大会についての大会長候補者等に関する進捗状況が報告された。

2) 編集委員会（後藤委員長）

配布資料に基づき、「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

(1) 「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況
<投稿状況>(2019年9月1日～2020年1月31日)

・「JPFMSM」誌：新規投稿17編（内海外0編）

※前年同期間：新規投稿20編（内海外3編）

・1/31現在、審査中＝9編

（採択6編、不採択2編）

※受付不可4編（投稿規定に沿わない等で原稿返却、海外4編）

・「体力科学」誌：新規投稿17編

（依頼教育講座含む）

※前年同期間：新規投稿29編

（依頼教育講座含む）

・1/31現在、審査中10編

（採択＝2編、不採択＝5編）

<発行予定>

「JPFMSM」誌

○Vol. 9, No. 2（2020年3月25日発行）

掲載論文6編。

○Vol. 9, No. 3（2020年5月25日発行）

掲載論文6編。

○Vol. 9, No. 4（2020年7月25日発行）

2/1現在、掲載論文1編。

「体力科学」誌

○Vol. 69, No. 2（2020年4月1日発行）

2/1現在、掲載論文3編。

また、査読に関する新機能について以下の資料に基づき提案され、承認された。

(2) Editorial Managerでの「ORCID」ならびに「Publons」との連携

・ORCID（Open Research and Contributor Iden-

tifier) (非営利団体ORCID.orgが管理)

- ・研究者と業績等を永続的にリンクさせるための研究者統一ID
- ・論文投稿時に求められることが多いが、最近では査読時に求められることも
- ・Publonsの業績情報と同期可能
- ・Publons (現在はClarivate Analytics社のサービス)
- ・研究者と査読実績をリンクされるためのID
- ・Web of Science Core Collectionの最新被引用数を表示
- ・ORCIDと同期可能

3) 学術委員会, 広報委員会

(確井学術委員長, 須永広報委員長)

学会HPの学術刊行物紹介ページについて、HP上に掲示板の様な形で刊行物紹介専用バナーを作り、学会から紹介したい内容“メディカルフィットネス”を閲覧できるように更新したことを配布資料に基づき報告された。

4) 渉外委員会 (永富委員長)

国内、海外の大会等の報告と進捗状況等が報告された。

5) 男女共同参画推進委員会 (須永委員長)

12月9日に開催された男女共同参画学協会連絡会運営委員会について報告がなされた。

2. 第74回 (茨城) 大会の報告

(田中第74回大会長, 前田大会事務局長)

資料に基づき、第74回 (茨城) 大会の決算報告がなされた。

3. 第75回 (鹿児島) 大会の進捗状況

(徳田第75回大会長)

配布資料に基づき、大会の進捗状況について以下のように報告された。

会 場：鹿児島大学郡元キャンパス

会 期：2020年9月24日(木)～26日(土)

テーマ：チェストいけ！日本体力医学会

－健康長寿を支える体力医学の未来－

大会の進捗状況

- ①会場：鹿児島大学共通教育センター・稲森会館
- ②運営事務局担当者：株式会社CSS
- ③「趣意書」・ポスター、パンフレット作成、配布 (郵送含む)
- ④後援団体決定：5団体
- ⑤「名誉大会長」決定
- ⑥組織委員会立ち上げ
- ⑦「学会ホームページ」のインターネット上公開
- ⑧プログラム編集を開始

*特別講演2題…演者交渉中

*教育演題2題…交渉中

*シンポジウムの公募中 (12テーマ予定)

2020年2月29日(土)の正午まで(「学会案内第2報」で告知済)

*体力医学会学会賞受賞論文表彰と講演

*ワークショップ (未定)

*教育セッション「英文論文執筆のポイント」

*ランチョンセミナー (3セミナー)

※1つは、大塚スポーツ医科学賞講演を予定

*評議員会・社員総会：

2日目の昼食時間帯を予定

*持久走大会コースの選定と距離計測

⑨参加登録について告知

「学会案内第2報」で2020年4月1日(水)～7月27日(月)正午まで

⑩学会役員委嘱状, 座長委嘱状などの準備中

4. 第76回 (三重) 大会の進捗状況

(加藤第76回大会長)

配布資料に基づき、大会の準備状況等について報告された。

会 場：三重県総合文化センター

会 期：2021年9月17日(金)～19日(日)

テーマ：「知の継承と共有」

持久走大会コース：三重大学構内

編 集 後 記

「体力科学」第69巻4号をお届けいたします。本号は原著論文2編，資料2編，教育講座2編およびJPFSM, Vol. 9, No.4 (2020) の抄録などから構成されております。論文をご投稿いただきました著者の皆様に厚く御礼申し上げます。また，ご多忙の中，査読をご担当いただきました先生方にも心より感謝申し上げます。引き続き，会員の皆様には「体力科学」および「JPFSM」へのご投稿をお願い申し上げます。

現在，コロナ禍の収束に向け，様々な施策を講じながら，徐々に日常生活を取り戻しつつあります。とはいえ，完全に元の生活を取り戻すには少し時間がかかるようです。運動・スポーツ界もその影響は免れず，プロ，アマ問わず多くのイベントが中止や縮小，延期と対応を余儀なくされています。そのような中で，明るい話題といえは，将棋界における17歳の藤井聡太七段の活躍です。「棋聖」「王位」のタイトルを獲得すべく，挑戦している最中です。藤井聡太七段といえは，将棋界の公式戦勝利の史上最年少記録をはじめ，華々しい活躍は皆さんが目に見えているところです。このような活躍の裏には，本人の才能もさることながら，それに加え並々ならぬ努力（研究）が隠されていることはいまでもありません。その原動力になっているのは，おそらく純粋に「将棋が好き」という思いでしょう。このことは，日本体力医学会の会員の皆様にも同じことがいえるのではないかと思います。純粋に「運動やスポーツが好き」という思いが，これまでも，これからも研究を進めてきた（進める）ことの源

にあるはずですが，現在は研究活動を制限せざるおえない状況下ですが，このような中でこそ，その思いを力に変え，与えられた環境のなかで日々できることを進めていく必要があると感じています。学会員の先生の中には様々な媒体を通じて，これまでの研究で培った情報を発信されています。このような活動は国民全体に力を与え，日常の運動・スポーツの意義や重要性を広く国民に還元し，運動やスポーツ活動の醸成に寄与していくものと思われれます。今後も本学会活動を含め，様々な活動を通じて，確かな情報を積極的に社会に発信ください。

最後になりますが，第75回日本体力医学会大会（鹿児島大会）が私の勤務地である鹿児島県が中心となり開催されます。新型コロナウイルス感染の完全な収束が見通せない中で，開催に関して大会関係者において多くの議論を重ねて参りました。その結果，会員の皆様をはじめ国民の健康を第一に考え，鹿児島大会はweb上で開催することとなりました。これまでの日本体力医学会大会とは異なり，様々な制限があるなかでの開催となります。現在，webの利点を生かした最善の方法で実施すべく，学会準備が進められています。会員の皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが，是非とも多くの皆様にご参加いただきまして，活発な議論を進めていただけましたら幸いに存じます。

沼尾 成晴

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.69, No.4

体 力 科 学 第 69 巻 第 4 号

令和 2 年 7 月 25 日 印 刷
令和 2 年 8 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012
E-mail：jpsfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL：0235-22-3120 FAX：0235-22-3120
E-mail：hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社